

トイレ掃除で「心を磨く」

大富士中で生徒たちも社員と一緒に

エコネコル



昨年に続いて大富士中でトイレ掃除奉仕

トイレ掃除を通して心
を磨き、感謝の心を育て
よう。富士宮市立大富
士中学校(佐野一男校長) 主催の第二回「掃除に学
ぶ会」が開かれ、同社の
社員七十人余と共に自主

参加した大富士中の生徒
たちや教職員ら八十人余
が、校舎内のトイレ掃除
を行った。

場として活動に取り組ん
でいるもので、昨年十一
月に大富士中で活動を
皮切りにスタートした。

昨年に続く、エコネコ
ル(旧・佐野マルカ)の
トイレ掃除作業は、「掃
除に学ぶ会」と銘打ち従
業員教育の一環で行われ
たもの。同校では、同社
の従業員への心の教育に、
ボランティア参加を希望
する生徒や教職員も一緒
に活動しようと呼びかけ
たところ、部活動をはじめ
多くの生徒が参加を申
し出て、社会人と一緒にの
トイレ掃除活動を行った。

同社では、環境整備委
員会(佐野文勝委員長)
を組織して実践活動に取
り組んでいる。トイレ掃
除は、謙虚な人になれる、
気づく人になれる、感動
心を育む、感謝の心が芽
生える、心を磨く、と位
置付けて「心の教育」の
代表らが体験発表を行
ってトイレ掃除で得た
感想などを語り、自分の
心とも向き合う機会に
なったことなどの思いを
発表した。奉仕活動の締
めくくりには、参加者全
員で「故郷」を合唱して、

富士宮朗読研究会は
あす十九日(水)午後
時から四時まで、富士
市錦町の市立病院南側
車場の東隣「雑貨・カラ
ページ」で『朗読とお
を楽しむ会』、その十二
を開催する。

朗読の会では「クリ
マス」をテーマに、朗
読研究会の木村愛子さん
「十二月のうた」(茨木
り子)、「世界で一番の
りもの」(マイケル・モ
パーゴ作。佐藤美果夢
訳)、「デューク」(江

意義ある「掃除に学ぶ会」
を閉じた。

犯罪抑止 夜間パト強化

富士宮署で展開

富士宮署は、十五日か